

令和4年度 宮崎市環境審議会 議事録(要旨)

日時：令和5年2月22日(水) 午前9:33～午前10:45

場所：宮崎市役所 本庁舎 4階 特別会議室

議 事

第三次宮崎市環境基本計画の一部改訂について

事務局説明	<p><事務局から【資料①】「説明要旨」、【資料②】「第三次宮崎市環境基本計画の一部改訂を行う箇所」、【資料③】「評価指標の最終目標一覧」、【資料④】「第三次宮崎市環境基本計画【一部改訂計画】(案)」について説明></p>
委員質問	<p>第三次宮崎市環境基本計画における施策進捗度の令和6年度評価指標の最終目標値は、令和3年度実績値と、令和4年度及び令和7年度の目標値から算出していると思われるが、設定にあたっての基本的な考え方を教えてほしい。</p>
事務局回答	<p>令和6年度の最終目標については、基本的に直近の実績を見据え目標値を設定している。</p> <p>イベント関係等、新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けている施策進捗度については、元々の目標である令和7年度、令和9年度の目標値と直近の実績の乖離が大きいものも多く、最終目標値の大幅な下方修正を行ったものもある。</p> <p>ただし、コロナ禍であるからと言って、全てを下方修正するというのではなく、ウィズコロナでの数値目標の設定をした施策進捗度もある。</p>
委員質問	<p>【資料④】31ページから37ページにかけての、変更された目標数値に対応する施策は次期計画に盛り込むことになると思うが、令和5年度、6年度に新たに取り組むものがあれば教えてほしい。</p>
事務局回答	<p>2030年度温室効果ガス排出の46%削減や、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、来年度まず、本市の再生可能エネルギーポテンシャル調査を行い、本市の温室効果ガス排出の現状を把握する予定である。</p> <p>そして、本市の実情に応じた再生可能エネルギー導入戦略を立案し、令和7年度を始期とする次期・第四次宮崎市環境基本計画に反映させることによ</p>

	り、ゼロカーボンシティみやぎの実現に向けた施策の推進を図る予定である。
--	-------------------------------------

委員 質問	令和3年8月に、2050年までに「ゼロカーボンシティみやぎ」を目指すことを宣言しているが、市としてのゼロカーボンアクションやロードマップについて教えてほしい。
事務局回答	令和5年度実施予定の再生可能エネルギーポテンシャル調査により、本市の温室効果ガス排出の現状を把握した上で、次期・第四次宮崎市環境基本計画において、本市としてのゼロカーボンアクション等の施策の推進を図る予定である。

委員 質問	2050年に二酸化炭素排出量を±0にする場合、現在の二酸化炭素吸収に係る森林等の面積と、二酸化炭素吸収量の数値を教えてほしい。
事務局回答	<p>二酸化炭素の吸収源となる現在の本市の森林面積については、令和3年3月31日現在、35,000.73haである。</p> <p>本市の二酸化炭素吸収量については、現在把握できておらず、前述の再生可能エネルギーポテンシャル調査で算出する予定である。</p> <p>なお、県全体の二酸化炭素吸収量は、令和元（2019）年度実績で402万t-CO₂である。</p> <p>（参考：宮崎県森林面積 586,103.34ha、宮崎市森林面積 35,000.73ha（5.97%）（平成31年3月31日現在））</p>

委員 質問	宮崎県森林環境税について、現在までに新たに植林された面積と、今後の植林面積の推移は。
委員回答	<p>宮崎県森林環境税を活用し、ボランティア団体が行う植栽や、保育などの森づくり活動に対して支援をしている。</p> <p>実績としては、平成18年度から令和3年度までの植栽面積が220.98haで、保育面積が1,160.48haである。</p> <p>今後の植林面積等の推移としては、あくまでボランティア活動に対する支援なので、面積の目標や増加予測は立てていない。</p> <p>ボランティアの取組は、高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響で減少傾向にある。</p>

委員意見	<p>2030年度温室効果ガスの排出削減目標の見直しについては目標値が非常に高いので、ゼロカーボンシティみやざき実現に向けて、新たな施策を展開していくものと思う。</p> <p>十分な審議の上で、確実に達成できるような目標値になるように検討してほしい。</p>
------	--

委員質問	<p>2030年度温室効果ガス排出46%削減について、今回は国の目標に合わせた数値にするということだが、次期・第四次宮崎市環境基本計画策定の際にはもう一度見直しがあるということか。</p>
事務局回答	<p>令和5年度に、本市の再生可能エネルギーポテンシャル調査を行う予定である。</p> <p>これは、森林吸収量や再生可能エネルギーのポテンシャルを調査するものである。</p> <p>国は高みとして50%削減を掲げているので、今回の46%削減目標はこの辺りの実績値を踏まえながら、今後改訂していきたい。</p> <p>また今年度、宮崎県環境基本計画も改訂される予定で、県では50%削減を目標にしているので、本市もそこに近づけるよう、来年度以降の計画策定に向けて進めていきたい。</p>
委員意見	<p>次期・第四次宮崎市環境基本計画策定の際には、宮崎県環境基本計画の50%削減を参考にしてほしい。</p>

委員意見	<p>【資料④】の2ページに記載されている「県の取組」の内容について、改訂前の宮崎県環境基本計画の内容になっているので、改訂後の内容に修正してほしい。</p>
事務局回答	<p>改訂前の宮崎県環境基本計画の中での記載を、基本的にはそのまま使わせてもらっている。</p> <p>この件については、県の担当課と調整し、文面の記載について改めたいと考える。</p>

委員質問	<p>次期・第四次宮崎市環境基本計画については、令和5年度に実施する再生可能エネルギーポテンシャル調査の結果をいかして策定するということか。</p>
事務局回答	<p>令和5年度から令和6年度の2か年にわたり、次期・第四次宮崎市環境基</p>

	<p>本計画の策定準備に入るので、その中で改めて、この目標値や施策の内容、市民満足度の内容の見直しをかけていく。</p> <p>今回、コロナの影響等で、大幅に数値の目標が下がっているとか、変えたというものもあるが、ウィズコロナ、アフターコロナも踏まえて、第四次環境基本計画の中で施策の見直しをしていきたいと考えている。</p>
--	---

委員質問	<p>市域全体から排出される温室効果ガスの削減率について、目標に対して実績が非常に良いとのことだが、その中で特に良かった部分・分野があれば教えてほしい。</p>
事務局回答	<p>直近令和2年度に消費されたエネルギーの半分以上を電気が占めているが、こちらで把握している状況では、九州電力のCO₂の排出係数が他の大手電力会社の係数と比べて低いという状況がある。</p> <p>これは、九州電力の電源構成が原子力や、太陽光をはじめとする再エネの割合が大きいということがある。</p> <p>本市の排出量は現在、国の基準値で設定しており、そのあたりの状況がまだ不明確なので、この点については今後再分析をしたい。</p>

委員質問	<p>ゼロカーボンシティに関して、省エネの取組で、学校のLED化はどうなっているのか。</p>
事務局回答	<p>学校も計画的にLEDの推進を図っているところだが、予算等の関係もあり、まだなかなか進んでいない。</p> <p>来年度以降、学校施設のLED照明による省電力に積極的に取り組んでいくため、現在関係各課と計画・準備を進めている。</p>

委員意見	<p>温室効果ガス排出量の削減について、人口減少による自然減も考えられるが、市民生活や国民生活が低下した上でCO₂が減少しても、あまり意味がないと思う。</p> <p>経済活動や人間活動が活発であっても、CO₂がある程度削減できる方が良いと思う。</p>
事務局回答	<p>人口減については、第五次総合計画の中の人口ビジョンの中で自然減について出てくる。</p> <p>その中で二酸化炭素の削減も出てくると思うが、プラスアルファの意見と</p>

	<p>ということで、環境基本計画での記載方法については調整したいと考える。</p>
--	---

<p>委員 質問</p>	<p>国の施策で、【資料①】にもあるように地域脱炭素ロードマップが決定され、2030年までに少なくとも100か所の脱炭素先行地域を創出するとしている。</p> <p>この脱炭素先行地域については、環境省からの補助もあるが、宮崎市は手を挙げることは考えていないのか。</p>
<p>事務局回答</p>	<p>本市も脱炭素先行地域については検討しているところだが、太陽光などのポテンシャルを調査のうえ、まずは国の重点対策加速化事業を活用し、公共施設等の太陽光発電設備導入などを重点的に展開していくことから始めたい。</p> <p>その中で、地域との関連性もあるので、先行してできる地域があれば、脱炭素先行地域として組み込めないかを含めて検討したい。</p>

<p>委員 意見</p>	<p>省エネについて、住宅の断熱など、担当部署と連携して進めれば効果があると思う。</p>
<p>事務局回答</p>	<p>前述のポテンシャル調査の中で、住宅メーカー等の意見聴取などを進めながら、そういう対応ができないかを含めて、次期計画の中に盛り込めるようであれば、盛り込みたいと考える。</p>

<p>委員 意見</p>	<p>【資料④】の32ページにある、温室効果ガス排出量削減のイメージ図について、削減のイメージだけではなく、森林等による二酸化炭素の吸収量も合わせて載せると、イメージが付きやすいと思う。</p>
<p>事務局回答</p>	<p>今回改訂の表については、あくまでも二酸化炭素削減量の数値を掲載したものである。</p> <p>46%削減については、森林吸収量が含まれた形での削減目標なので、この見せ方については委員の意見も参考にし、森林吸収量が把握できた段階で、次期計画の中で工夫したいと考える。</p>